



夢風

YUMEKAZE

第106号 (平成30年度 No.4)



みなさん、夢風ようこそ。

夏休みに入りましたが、校内では学習会や部活動に意欲的に取り組む姿が見られます。厳しい暑さが続きますので、健康には十分に留意していきます。

今号では、1学期の生徒たちの活動をお伝えします。



「夢風」は Web ページでも発信しています。 <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp>



ニュース

News



● 出前講座「職業・上級学校を理解しよう」(1年生)

1年生の「産業社会と人間」の授業では、進路選択の参考として、大学・短大・専門学校から講師の方に来ていただく出前講座を開講しています。今年度は13の分野別講義と就職講話が設定され、生徒は希望進路や興味・関心に基づいて講座を選択し、1時間ずつ2講座を受講しました。

「看護とは」「保育とは」といった、その学問の意義を考える講義や、デザイン画に色付けをしたり、マジパンを作製したりする



同じクオリティの作品を何百個も作るプロの仕事に驚きました(調理・製菓)

実習主体の講義など、特色ある講座が展開されました。各分野の専門家から実用的なお話を伺い、熱心にメモをとっていました。上級学校でどんなことを学ぶのかを具体的に知ることができ、これからの自分の進路を考えるにあたり実りの多い時間となりました。

2学期のプラン選択に向け、8月後半の学年出校日には、3年生によるプラン別説明会が行われます。



● 修学旅行事前学習(2年生)



2年生の「総合的な学習の時間」では、台湾修学旅行に向けた異文化理解研究を進めています。その一環として公益財団法人オイスカ・インターナショナルから6名の研修生をお招きし、クラスごとに交流しました。スリランカ、パプアニューギニア、バングラデシュ、フィジー、マレーシアといった研修生の皆さんの出身地は生徒にはなじみが薄いため、事前に各国の基本情報を配付し、質問や交流内容を考えました。当日、研修生の皆さんは質問一つ一つに丁寧に答え、国歌やダンスを披露してくださいました。本校の生徒も校歌を歌ったり、けん玉など日本の伝統的遊びを紹介したりするなど工夫を凝らしていました。



また、保護者会期間中、1年時に作成した台湾ガイドブックの優秀作品と、スーツケースなどの持ち物の見本を展示しました。修学旅行準備の参考にさせていただけたら幸いです。

● 日本画体験学習会

7月13日(金)、名古屋芸術大学准教授の荒木紀枝氏をお招きして、美術プランの2・3年生と美術部希望者を対象に日本画の体験実習を行いました。



岩や宝石を細かく砕いた顔料を見せながら、種類や作り方を説明してくださいました。顔料の荒さで色の濃淡が決まり、細かく砕くと白に近づくなど、初めて知ることばかりでした。実習では、トマトやししとうなどの野菜を描き、着色していきました。水彩絵の具との質感や発色の違いが興味深く、参加した生徒は熱心に取り組んでいました。



水彩絵の具との質感や発色の違いが興味深く、参加した生徒は熱心に取り組んでいました。



部活動紹介 Club Activities



● JRC部

JRC部は1・2年生の男子3名、女子18名で活動しています。主な活動は、サンホーム豊田などでの地域の皆さんとの交流や各イベント運営のお手伝いです。7月14日(土)に豊田スタジアムで開催された「わいわい♪こども縁日」では、多くの子どもたちが手作りゲームコーナーに参加してくれ、賑わいました。



7月18日(水)には、愛知県赤十字血液センターと豊田献血ルームの方に来ていただきました。献血の意義や、高齢社会において若者の献血が求められていることなどを説明していただきました。8月3日(金)と6日(月)の14時から16時には、松坂屋豊田店入り口付近でJRC部員各4名が、街頭献血呼びかけボランティアを行います。ぜひ、ご協力ください。

